



きょうされん
千葉支部会報

2014 年 6 月号

千の葉通信



発行 きょうされん千葉支部事務局 広報委員会

2014年5月30日

千葉支部第7回定期総会開催

5月11日(日)、千葉市生涯学習センター メディアエッグにおいて、きょうされん千葉支部第7回定期総会が執り行われました。議長には社会福祉法人えのき会の根津志江氏が選出され、議事進行を行なっていただきました。全ての議案は承認され、これから2014年度のきょうされん千葉支部活動が動き出します。

「就労分野への株式会社が参入してきている。障害者の利用が増える一因にもなっているが、その一方で営利目的の業者もいる。我々としては、質の高いサービスの維持が課題である。悪徳業者のために揺るがされないよう、SELPや他団体と連携しながら進めていきたい。」

- きょうされん千葉支部
支部長
加藤 裕二

2013年度の振り返りと、新年度に向けて

<組織・運動委員会>

署名・募金が前年度を大きく上回ったのは、一年の成果の現れ。
(NPO法人トライアングル西千葉 浜畑力也)

<財政委員会>

きょうされんカレンダーの売れ行きが不調だった。本部の財政委員会にて意見を言っていきたい。
(社会福祉法人つくばね会 廣瀬晋)

<研修委員会>

他団体と協力した研修が多かった。他団体との繋がりを強め、それを活かした研修を企画したい。
(社会福祉法人つどい 菊池益男)

<広報委員会>

ようやくウェブサイトの開設にこぎつけることが出来たが、更新がままならなかった。ツイッター、フェイスブックと合わせて活用できるようにしたい。
(NPO法人トライアングル西千葉 並木雄一)

総会でいただいたご意見

⇒地域活動支援センター問題について、千葉支部として独自に県に対して交渉できるように取り組んだらどうか。

⇒各委員会の活動費について、今年度はもっと明確になるようにしてほしい。

いただいたご意見を踏まえて、今年度の活動を進めていきます。
どうぞよろしくお願いいたします。



顧問事務局長(左)と議長を務めた根津氏(右)



講演を行なう赤松英知氏

STOP! 精神科病棟転換 型居住系施設

作りすぎた精神科病棟(病床)を住まいや福祉施設に転換するという動きがあります。しかし、それは看板の掛け替えに過ぎず、社会的入院の解決ではありません。

日本は障害者権利条約の批准国となりました。精神科病院を統合失調症や認知症の方たちの永久下宿にすることは権利条約違反となります。

これらの動きに反対し、国会で現在審議中の「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律案」について、徹底した審議を求めよう行動していきたいと思っています。

きょうされん千葉支部学習会

「障害者権利条約の批准が意味するもの」

きょうされん千葉支部第7回総会に先だって、きょうされん常任理事の赤松英知氏の記念講演が行われました。

「障害者権利条約の批准が意味するもの ～障害のある人が障害のない人と同等の地域社会を送ることができる社会を～」をテーマに語っていた内容を要約してご紹介します。

障害者権利条約とは

障害のある人もない人も同じ社会の一員として共に生きることができる社会を目指すための世界のルール。求めているのは特別扱いではなく、障害による困難や不利をカバーすること。

医学モデルから社会モデルへの転換

これまで、障害の捉え方は「医学モデル」と呼ばれるもの——障害を持つ本人の側に困難や不利の原因があるものとされていた。しかし、障害者権利条約では「社会モデル」と呼ばれるもの——障害を持つ本人の内ではなく外側、社会のあり方にこそ原因があるとしている。

障害者権利条約を批准するということ

日本の法律と権利条約の関係は「憲法より下、法律より上」となる。条約を批准した国になる——締約国になる、ということは、締約国会議への出席や国連の障害者権利委員会に提出する政府レポートへ意見を求められる。また、政府レポートと平行して民間からもレポートを提出することができる。

権利条約は誰もが共に生きることのできる社会をつくるための道しるべです。権利条約を地域のすみずみに広げていきましょう。





37次の取り組み

2013年11月

●請願署名・募金行動開始

2013年12月

●新宿での「関東スロックスが
んばるディ」に参加

●鎌ヶ谷駅前にて、「千葉支部
がんばるディ」を実施

●そごう千葉店前にて、「千葉
支部がんばるディ」を実施

●友好団体および米本国地自治
会へ署名の依頼

2014年5月

●千葉県中央メーデー参加

署名総数

3,366筆

募金総額

138,628円

第37次国会請願署名・募金活動

きょうされん本部では、昨年11月より第37次国会請願署名・街頭募金活動を行っております。この動きに伴い、千葉支部事務局では支部会員の皆様、各友好団体へ署名用紙の配布と依頼活動を行なってきました。

この活動の成果は、数字に如実に現れました。第37次の署名数・募金総額は第36次を大きく上回ることができ、募金については千葉支部の目標金額を達成することができました。

5月11日現在の到達点は、署名3,366筆、募金138,628円となりました。

5月29日には、この署名を持って国会へ赴き、千葉県選出の各議員の元へ請願行動を行なって参りました。この請願行動につきましては、次号にてご報告いたします。

第38次の活動につきましても、各会員の皆様にも多大なご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

今年の全国大会は神奈川で開催されます

「なかまとつくる みんなのしあわせ わたしのみらい」を大会のテーマとして、37回目のきょうされん全国大会が神奈川県で開催されます。

神奈川支部では現在各方面での準備を進めておりますが、大会の開催には協賛金が必要です。皆様からのご協力をお願いいたします。

詳しくは、神奈川大会のブログをご覧ください。

きょうされん

第37回全国大会 in かながわ

日時 9月22日(月)・23日(火・祝) 会場 パシフィコ横浜

お問い合わせ

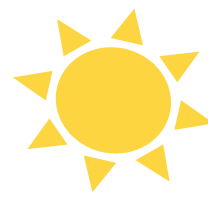
きょうされん 第37回全国大会inかながわ実行委員会事務局

社会福祉法人 夢21福社会 夢21上星川

TEL: 045-334-0491 FAX: 045-331-4653

E-Mail: jikkouinkai-jimukyoku-37@kyousaren-kanagawa.com

blog: <http://kyousarenkanagawa.blog.fc2.com/>



会員施設取材レポート

— 特定非営利活動法人 南天の木

千葉支部会員の施設へ事務局員が訪問し、施設のいろいろな話を伺います。

第一回目は、流山市の江戸川台駅の近くで活動している「南天の木」さんへお邪魔しました。

特定非営利活動法人 南天の木

〒270-0115

流山市江戸川台西2-148

TEL: 04-7155-7450

URL: <http://www.npo-nanten.org/>

就労継続支援B型事業所。

売店3店舗を運営。23名の利用者の方々は作業を行いながら店舗でのレジも担当する。



— 「南天の木」理事の小林哲夫さんにお話を伺いました。

「南天の木」について

南天の木は、20年前から動き出している。ボランティアの人たちが中心になって始められた。NPO法人を取得したのは平成21年。平成24年から、地域活動支援センターとして始められた。今は就労継続支援B型として動いている。流山市内の事業所はだいたいB型である。

代表の山本きみよさんたちが、何も無いところから江戸川台駅東口の方面に作業所を開設、市からの補助金でやってきた。しかし、法人でないと市も補助金は出せないということになり、法人格を取得した。定員は20名、登録者数は23名。利用者の障害種別は、身体、知的、精神の3障害である。自立通所できる人を対象にしている。

小規模作業所は置いてけぼり

以前「助け合いネット」の役員をしていた頃、代表の山本きみよさんより、『南天の木を社会福祉法人にしてほしい』との依頼があった。一生懸命頑張って、社会福祉法人の立ち上げ寸前までいったが、そのタイミングで自立支援法が出来た。そこには小規模作業所の行く場所が示されていなかった。自立支援法の中に、小規模作業所の位置付けがされていなかった。そのため、千葉県から社会福祉法人には認可できないと言われた。小規模作業所は置いてけぼりだった。膨大な書類を用意して、県の担当する人も「大丈夫」と言っていたのに、とても残念だった。

「社会参加」「自立と就労」「働くことを大事にして」

理念として、「社会参加」、「自立と就労」、「働くことを大事にして」を掲げている。運営する3つの店舗は、成り行きに任せて、自然にこんな方向に、一つの店の実践で実績が出来ると、もう一つのところも借りやすくなったり、声がかかるようになった。「信用」がキーワード。私たち仲間が真面目に一生懸命やれば、見ている人が励ましてくれる。ピーズの袋詰め、ハンガーのカバーかけの作業も同時に行なっている。「失敗は成功のもと」。失敗しても許される。

親なきあとの問題が大きい。障害者が一人で生活できる場が必要になる。親たちの高齢化問題、保護者抱えの状況。利用者の工賃については、平均3万円ぐらいになる。それで生活していけるかを考えると少ない。最低賃金ぐらいは保障したい。

南天の木が頑張って商店街を活発にして

つくばエクスプレスが通って、流山市内に3つの駅ができたが、江戸川台駅の商店街はシャッター通りで人の流れがない。勤めの帰りに柏や東京で買い物をしてくるので、地元で買い物をする人が少ないという状況。大型店舗が郊外に出来て、この商店街はさびれてしまった。店舗はどんどん変わっている。地域の振興策は難しい。

「南天の木が頑張って商店街を活発にしてほしい」と市からも言われた。個々の繁栄の起爆剤になる可能性もある。社会に貢献する重要な存在である。カフェやお店が、たまり場としてなんとなく集まっておしゃべりしていける場所になれるといい。

就労継続B型の事業所が増えてきている。みんなが特徴を出して、活動している。市内の事業所間の交流はあり、相談支援の集まりがあって施設の悩みを出し合っている。

困ったときに頼りになるのがきょうされん。適切なアドバイスを受けた。利用者の立場にたって、働く障害者の生きがいなどを大切にしている。

活動内容の紹介



ふるさとコーナー「ひばり」

ごみ清掃工場の余熱を利用した温浴施設に隣接した店舗。流山産の製品など地域の品を多く取り揃えている。

朝採り野菜を農家の方に持ってきてもらい販売している。大型スーパーが近くにあるが、影響は受けない。



ショップ「ポケット」



昨年からはじめたという畑では、ニラを栽培している。流山で一番のニラを目指そうと取り組んでいる。利用者の皆さんは収穫作業に参加し、自分たちが作った野菜も店頭で並べようと頑張っている。

事務局だより

＜2014年度支部役員の紹介＞

支部長	加藤裕二	(社会福祉法人オリーブの樹)
副支部長	鈴木信一	(NPO法人トライアングル西千葉)
事務局長	瀬瀬建史	(NPO法人トライアングル西千葉)
事務局次長	菊池益男	(社会福祉法人つどい)
会計	松村幸江	(NPO法人きらら)
監事	園田 道	(社会福祉法人つどい)
監事	池田直道	(一般社団法人多夢多夢)
事務局員	廣瀬 晋	(社会福祉法人つくばね会)
事務局員	浜畑力也	(NPO法人トライアングル西千葉)
事務局員	福井良子	(NPO法人トライアングル西千葉)
事務局員	並木雄一	(NPO法人トライアングル西千葉)

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

＜千葉支部の予定＞

6月22日(日)「てんかんについて考える」研修会

7月6日(日)「障害者のくらしの場 グループホーム・ケアホームの問題」学習会

＜SNS開設＞

きょうされん千葉支部のTwitter、Facebookを開設しました。

Twitter: https://twitter.com/kyousaren_chiba

Facebook: <https://www.facebook.com/chiba.kyousaren>

あとかき

千葉支部の事務局員を拝命してから一年が経ちました。二年目を迎えて、初めて会報誌の編集を行いました。編集の仕事は、これまで縁のなかったことであり、あとかきを書いているこの段階に辿り着くまで、とても長い道のりでした。

東京ヤクルトスワローズで19年間スロ選手として活躍した宮本慎也氏が、引退表明の会見でこう語りました。

『好きで始めた野球だけど、スロになった瞬間に仕事になった。よく最近“楽しむ”“楽しむ”というが、僕自身は一回も野球を楽しんだことはない。仕事として真剣に向き合ってきた。』

それはとても印象深い言葉でした。広報としての仕事も苦しいことの連続かもしれませんが、真剣に、一生懸命に取り組んでいきたいと思います。

(広報委員会 並木)

お問い合わせ先

お気軽にお問い合わせください。

きょうされん千葉支部

〒263-0043

千葉市稲毛区小仲台2-6-1 京成稲毛ビル205号 トライアングル西千葉内

TEL: 043-206-7101 FAX: 043-207-7153

E-Mail: contact@kyousaren-chiba.com

Web: www.kyousaren-chiba.com

お詫び

「南天の木」さんの取材レポートの掲載が大変遅くなってしまいました。関係各位に心よりお詫び申し上げます。

